



鳥羽屋實記
十七

^ 13
3382
17



13
3382
17



用府定

二十五

尾定



鳥羽宿務和夷記卷七

目録

一 清七が釣ひしけしおは

泊吉の舟にのりて海に

おろす



大正十年八月廿九日
本大學出版部
贈

多相度清初家記卷之七

清七ツキが影カゲひりヒリけケしシあアまマあアまマ

あアまマあアまマあアまマあアまマあアまマあアまマ

あアまマあアまマあアまマあアまマあアまマあアまマ

あアまマあアまマあアまマあアまマあアまマあアまマ

あアまマあアまマあアまマあアまマあアまマあアまマ

一 〇二〇二〇三〇四〇五
 〇六〇七〇八〇九
 一〇 一二 一三 一四 一五 一六
 一七 一八 一九 二〇 二一 二二
 二三 二四 二五 二六 二七 二八
 二九 三〇 三一 三二 三三 三四
 三五 三六 三七 三八 三九 四〇
 四一 四二 四三 四四 四五 四六
 四七 四八 四九 五〇 五一 五二
 五三 五四 五五 五六 五七 五八
 五九 六〇 六一 六二 六三 六四
 六五 六六 六七 六八 六九 七〇
 七一 七二 七三 七四 七五 七六
 七七 七八 七九 八〇 八一 八二
 八三 八四 八五 八六 八七 八八
 八九 九〇 九一 九二 九三 九四
 九五 九六 九七 九八 九九 一〇〇

〇一 〇二 〇三 〇四 〇五 〇六
 〇七 〇八 〇九 一〇 一一 一二
 一三 一四 一五 一六 一七 一八
 一九 二〇 二一 二二 二三 二四
 二五 二六 二七 二八 二九 三〇
 三一 三二 三三 三四 三五 三六
 三七 三八 三九 四〇 四一 四二
 四三 四四 四五 四六 四七 四八
 四九 五〇 五一 五二 五三 五四
 五五 五六 五七 五八 五九 六〇
 六一 六二 六三 六四 六五 六六
 六七 六八 六九 七〇 七一 七二
 七三 七四 七五 七六 七七 七八
 七九 八〇 八一 八二 八三 八四
 八五 八六 八七 八八 八九 九〇
 九一 九二 九三 九四 九五 九六
 九七 九八 九九 一〇〇

セトとおひひしねしふ半
心づきくくくさぞ扇えの折
おしと折はゆ桶の底へ
ぬくくくくくくくくくく
能りのいぬましとおひま
まはひし海ましとゆま
よせしよひましとゆま
らひしと折しゆまきかめ

かのせしひ大いなるのゆま
ゆまゆまゆまゆまゆま
しゆまゆまゆまゆまゆま
同しゆまゆまゆまゆま
まゆまゆまゆまゆまゆま
ゆまゆまゆまゆまゆま
ゆまゆまゆまゆまゆま
ゆまゆまゆまゆまゆま
ゆまゆまゆまゆまゆま

あつたぬくもを桶へはきかき
し金子燗こみりしあか
うらやとわらうり一統
かたかたの毛乃あかへこ
るるるるるるるるるる
しあかへん地よりあか
きくしりりりりりりり
者にあかきりりりりりり

あつたぬくもを桶へはきかき
し金子燗こみりしあか
うらやとわらうり一統
かたかたの毛乃あかへこ
るるるるるるるるるる
しあかへん地よりあか
きくしりりりりりりり
者にあかきりりりりりり

じし作せしきしはなむい
 てかの^{ちか}ききりししもの心
 ちし^{いふ}し^かし^かし^かし^かし^か
 句^いひ^りひ^さお^かき^やし^かし^か
 かん^しし^しし^しし^しし^しし^し
 し^しし^しし^しし^しし^しし^し
 被^さる^るを^しの^ちち^りり^りり^り
 の^いし^しし^しし^しし^しし^しし^し

じん^のの^ちち^ちち^ちち^ちち^ち
 の^いし^しし^しし^しし^しし^しし^し
 か^かか^かか^かか^かか^かか^かか^か
 て^いい^いい^いい^いい^いい^い
 し^しし^しし^しし^しし^しし^しし^し
 し^しし^しし^しし^しし^しし^しし^し
 び^びび^びび^びび^びび^びび^びび^び
 し^しし^しし^しし^しし^しし^しし^し

とていひてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて

仁も海も難備し
も文り下りの福
りあはば中論の一
後世の一生のあ
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて
おれりてはとつて



後世にありはりのり
知れはるるに
便をぬる家
のゆへに
ちよのち
有るに
屋の家の
くわいび

代善の
心と
もれ
清七
義の
事
一

と 句とさだめりり 新
お 此とさるるも 史
と 只人 情七も 知
妻 子 余 所 あり
と 一 あり びて 延 也 海 派
と あり び 欠 也 派 の 派
と あり け 派 派
と あり け 派 派
と あり け 派 派

と 句とさだめりり 新
お 此とさるるも 史
と 只人 情七も 知
妻 子 余 所 あり
と 一 あり びて 延 也 海 派
と あり び 欠 也 派 の 派
と あり け 派 派
と あり け 派 派
と あり け 派 派

の 醉 ね 人 の 一 人 一 人 一 人
作 じ じ じ じ じ じ じ じ じ じ
て 救 じ 救 じ 救 じ 救 じ 救 じ 救
少 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
た 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
海 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
海 の 海 一 一 一 一 一 一 一 一 一
も 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

石 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
忍 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
お 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
自 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
お 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

親しく〜〜〜
ま〜〜〜
の〜〜〜
た〜〜〜
訓〜〜〜
中〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜
〜〜〜

〜の〜〜
一〜
〜
お〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜
〜

